

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム 若園荘

作成日： 令和3年3月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 34 | 昨年度はAED訓練等を実施したが、参加していないスタッフもいるため、今後も継続し訓練を実施したい。感染対策を含め荘内の勉強会や外部研修を継続的・長期的に実施し、スタッフのレベルアップを図る。 | 緊急時の対応や、感染対策など勉強会や外部研修を通じて今不足している知識をスタッフ全員で学ぶ。 | 年間の勉強会で緊急時の対応、感染対策の勉強会を継続的・長期的に行う。実施後は、スタッフからのアンケートやレポート提出にて学習確認や今後必要とする問題点を出してもらい、次回の勉強会の課題とする。 | 12 か月 |
| 2 | 35 | 2階・3階ユニットから階段を使用し避難しているが、車椅子の利用者様を安全に階下に移動する器具は無い。 | エアストレッチャーを準備し、訓練や緊急時の搬送でスタッフがスムーズに使用できるようにする。 | 年2回の避難訓練時で使用する。また普段から全スタッフが使用できるよう、定期的に使用方法を学ぶ時間を設け、緊急時における階下への避難体制の方法を共有する。 | 6 か月 |
| 3 | 35 | 災害時における近隣住民との協力体制に努力しているが、現実的ではない。近隣商業施設などとの連携を、今後の課題としている。 | 近隣商業施設と連携を取り、災害時の協力を得られるようにする。 | 近隣商業施設への運営推進会議や、避難訓練への参加の依頼。また、お互いに利益になるような仕組作りの構築。(例:日頃から近隣商業施設へ利用者と買い物に行ったり、物品を定期的に購入するなど) | 6 か月 |
| 4 | | | | | か月 |
| 5 | | | | | か月 |